

様式第14号（第7条関係）

(1) 少量危険物 貯蔵
指定可燃物 取扱い
届出書

(3) 消防署長 様		(2) 年 月 日		
届出者		(4)		
住所		(電話 番)		
氏名		印		
貯蔵又は取扱い の場所	所在地	(5)		
	名称	(6)		
類、品名及び 最大数量	類	品名	最大貯蔵数量	一日最大 取扱数量
	(7)		(8)	(9)
貯蔵又は取扱方法 の概要	(10)			
貯蔵又は取扱場所の位置、構造 及び設備の概要	(11)			
消防用設備等又は 特殊消防用設備等の概要	(12)			
貯蔵又は取扱い の開始予定期日 又は期間	(13)			
その他の 必要な事項	(14)			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 白山野々市広域事務組合火災予防条例第3章第1節に規定する位置及び構造に関する図書を添付すること。
 - 本届出書は、2部提出すること。

[少量危険物・指定可燃物 貯蔵取扱い届出書記入要領]

項目	記入要領
(1) 少量危険物 指定可燃物	「少量危険物」「指定可燃物」のうち、不要なものを横線で抹消します。
(2) 年月日	届け出る日を記入します。
(3) 宛先	所轄する消防署長あてとします。
(4) 届出者	少量危険物・指定可燃物を貯蔵し、又は取り扱う者の住所及び氏名を記入し、押印します。届出者が法人の場合は、法人名及び代表者氏名を併記し、代表者印を押印します。
(5) 貯蔵又は取扱い の場所 所在地	貯蔵取扱所を設置又は変更しようとする場所の所在地を記入します。
(6) 貯蔵又は取扱い の場所 名称	貯蔵取扱所を設置又は変更しようとする場所の事業所の名称を記入します。 【例】 ○○株式会社○○工場、○○銀行○○支店、○○ビル
(7) 類・品名	危険物の類及び品名、指定可燃物の品名を記入するとともに、化学名、通称名を併記します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。 【例】 ・第四類第2石油類(灯油) ・可燃性液体類(大豆油)
(8) 最大貯蔵数量	1日のうちで、貯蔵する少量危険物・指定可燃物の最大数量を記入します。
(9) 一日最大取扱数量	1日のうちで、取り扱う少量危険物・指定可燃物の最大数量を記入します。
(10) 貯蔵又は取扱い 方法の概要	屋内貯蔵、屋外貯蔵、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク等の施設形態と貯蔵・取扱い方法の概要を簡記します。 【例】 ・ドラム缶で貯蔵し、容器へ詰め替えを行う。 ・屋内タンクから温熱ボイラーへ燃料を供給する。
(11) 貯蔵又は取扱い 場所の位置、構造 及び設備の概要	貯蔵取扱所の概要を簡記します。 【例】 ・(屋外の場合)敷地南側隅、コンクリート地盤、排水溝により境界を明示する。 ・(屋内の場合)本館1階の北側ボイラー室、主要構造部は耐火構造、床面は浸透防止構造とする。 ・(指定可燃物)1階倉庫内、集積単位0㎡とし、各集積単位間の離隔は0mとする。
(12) 消防用設備等又は 特殊消防用設備等の 概要	消防用設備又は特殊消防用設備等の種類と設置数を記入します。 【例】 粉末消火器(10型) 2本
(13) 貯蔵又は取扱い の開始予定期日 又は期間	貯蔵又は取扱いを開始する予定期日を記入します。期間を限定して貯蔵または取扱うものは期間を記入します。
(14) その他必要な事項	設計者、施工者等の所在・名称・電話番号のほか、特異な事項を記入します。 タンクにより貯蔵取扱いをする場合で、水張(水圧)検査が終了しているものは、検査機関、検査年月日及び検査番号を記入してください。

[添付が必要な図書備考 4]

位置	少量危険物・指定可燃物の位置を示すために、次のような図面を添付します。 付近見取図、敷地内配置図等の設置場所の周囲の状況を示すもの
構造	少量危険物・指定可燃物の構造を示すために、次のような図面を添付します。 建築物の構造図、配管図、設備図、電気配線図等の建築物又はその他の工作物及び主要な設備機器の構造を示すもの
その他	その他必要な図面を添付します。 変更にあつては、当該変更に係る詳細図等 ※不明な点は所轄の消防署へ確認してください。